

国立高専卒業生の就職先を調べたところ、サントリーグループが2年連続トップとなった。上位の顔ぶれは順位に若干の変動はあるもののほぼ変わらず。ただ、約30年ぶりに高専生の積極採用を再開した老舗もランキングに顔を出した。「高専に任せる」恒例の就職先ランキング(2020年春入社)を紹介する。

サントリー2年連続トップ

国立高専生 2020年就職先

企業名	採用数	うち女子	19年
1 サントリーグループ	82	16	95
2 NTT東日本グループ(エンジニア)	68	7	64
3 旭化成	64	7	70
4 ENEOS	60	8	50
5 J R東海	59	7	78
6 花王	57	25	59
7 メンバーズ	55	13	49
8 出光興産	52	4	43
9 関西電力	43	6	47
10 キャノン	42	5	45
11 大阪ガス	38	4	34
12 国土交通省	38	15	39
13 東京ガス	36	13	29
14 日東電工	36	16	42
15 J R東日本	35	5	29
16 キャノンメディカルシステムズ	32	9	28
17 中部電力	31	5	39
18 三菱電機ビルテクノサービス	31	4	40
19 ANAラインメンテナンス	30	4	19
20 三菱電機エンジニアリング	30	7	20
21 中国電力	29	2	29
22 浜松ホトニクス	28	3	22
23 パナソニックアプライアンス社	27	3	15
24 JALエンジニアリング	26	10	25
25 LIXIL	26	7	15
26 ダイキン工業	26	4	44
27 富士電機	26	3	31
28 東レ	25	7	25
29 セイコーエプソン	24	1	30
30 J R西日本	24	6	21
31 エヌ・ティ・インフラネット	23	15	24
32 ファナック	23	0	29
33 ANAベースメンテナンス	21	4	17
34 ステクニクス	21	5	13
35 日立ビルシステム	21	3	9
36 ビーネックスソリューションズ	20	3	6
37 住友金属鉱山	20	6	5
38 ホンダ	20	3	24
39 メタウォーター	20	3	15
40 東京エレクトロングループ	19	4	18
41 三菱電機	19	4	20
42 京セラ	19	4	21
43 コマツ	19	2	18
44 DMG森精機	18	2	11
45 SUBARU	18	0	27
46 資生堂	18	11	11
47 NHKテクノロジーズ	17	2	18
48 NTTフィールドテクノ	17	5	34
49 キリンビール	17	2	2
50 四国電力	17	2	26
51 日本オーチス・エレベータ	17	3	15
52 パナソニックシステムソリューションズジャパン	17	2	16
53 村田機械	17	2	13

(注)高専機構調べ(日経が取材した数字も含む)

を定期採用していたが、その後は工場近くにある高専を対象に細々と採用活動を続けてきた。それが昨年、改めて高専生の積極採用に踏み切った。昨年はわずか2人だったが、今年は17人(うち女性2人)も入社した。なぜ、キリンは高専生に秋波を送ったのか。答えは「製造現場に革新が求められる時代に、若い年齢で実践的なもの作り教育を受けてきた高専生

30年ぶり「キリンも来た」

が気になる。毎年、継続して入社している企業なら卒業生の動静はわかりやすい。高専生と担当教官とは卒業後もつながりは強いからだ。キリンが高専に出向いても「門前払いに近いところもあった」(網谷主査)という。それでも地道に採用活動を進めた。幸いにもキリンは全国にバランス良く9つの工場を構えている。まずは工場に近い高専に高専出身の社員が恩師を訪ね、キリンのキャリア形成など

を説明。工場見学会では、機械に触る楽しさといった学生目線にあった説明に努めた。20年春、名古屋工場に配属となったのが地元の高専出身の高専生。豊田工業高等専門学校出身の小川孝洋さんだ。実は上司の醸造エネルギー担当醸造エネルギー課の後藤幸史課長も約30年前、小川さんと同じ豊田高専から入社した。コロナ禍で例年のように研修がうまく進まない中で、前向きな姿勢で仕事に取り組んでいる」と小川さんの仕事ぶりに目

を細める。小川さんには後藤さんの機械に触る楽しさといった学生目線にあった説明に努めた。20年春、名古屋工場に配属となったのが地元の高専出身の高専生。豊田工業高等専門学校出身の小川孝洋さんだ。実は上司の醸造エネルギー担当醸造エネルギー課の後藤幸史課長も約30年前、小川さんと同じ豊田高専から入社した。コロナ禍で例年のように研修がうまく進まない中で、前向きな姿勢で仕事に取り組んでいる」と小川さんの仕事ぶりに目

で、16年にキャノンの傘下に入り、18年に現社名となった。高専のベテラン就職指導担当者には旧社名になじみがある。同社は新社名の浸透に努めて、安定的な採用に結びつけた。磁気共鳴画像装置(MRI)など多くの最先端の医療機器や医療ソリューションを提供する同社にとって高専出身者は即戦力に違いない。

「高専生は回路図も設計できるし、回路を見れば組み立てもできる。中学卒業時点で自分の進路を決め、エンジニアになるという姿勢、考え方がしっかりしている」と高専のベテラン就職指導担当者には旧社名になじみがある。同社は新社名の浸透に努めて、安定的な採用に結びつけた。磁気共鳴画像装置(MRI)など多くの最先端の医療機器や医療ソリューションを提供する同社にとって高専出身者は即戦力に違いない。

「高専生は回路図も設計できるし、回路を見れば組み立てもできる。中学卒業時点で自分の進路を決め、エンジニアになるという姿勢、考え方がしっかりしている」と高専のベテラン就職指導担当者には旧社名になじみがある。同社は新社名の浸透に努めて、安定的な採用に結びつけた。磁気共鳴画像装置(MRI)など多くの最先端の医療機器や医療ソリューションを提供する同社にとって高専出身者は即戦力に違いない。

今、もの作りの現場ではエンジニアの高齢化などによる人員構成の偏りが問題となっている。技術の伝承とデジタル対応の両面で高専出身者への期待はますます高まっている。(編集委員 田中陽)